

エコワンポイント

「桜」の季節になりました！



桜の木が川沿いに多いのはなぜでしょう！？

桜が川沿いに多い理由は、江戸時代の頃は大雨が降ると川が氾濫することがしばしばありました。桜の木は深い根を張るため、護岸の土壌を固定し、侵食を防止する効果があります。そこで土手に桜を植えることにより、土壌保護や防災効果を発揮しました。また、桜が開花すると毎年多くの人々が花見に訪れ、自然と土手を踏み固め増水に耐えられる土壌を作ったそうです。つまり花見は「コストを掛けずに土手の強化が図れるエコな防災対策」なのです。先人の知恵には感心させられますね。



出典：警視庁 災害対策課 災害警備情報系のホームページより
<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/saigai/yakudachi/others/1245878263945105410.html>



花見を「エコな防災対策」として
楽しんでください！

エア  ショップス21

ピットサークル燕店 CMC中越モーターズ株式会社